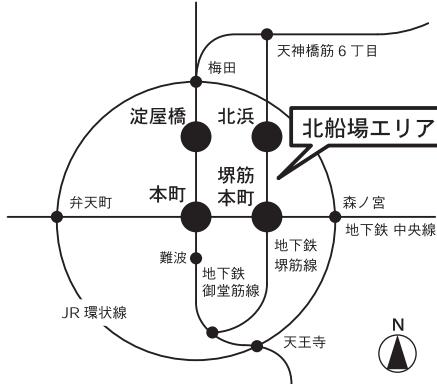


大阪散策

モダニズム建築編
アートガイドMAP

みんなで「文化都市大阪」の話をしながら作るマップ②



まずは中之島～北船場エリア！

大阪時代の近代建築がオフィス街に今もひっそりと息づく大阪のまち。

今回はその中でも、大御所ビルヂングが数多く残る近代建築の宝庫、中之島、北浜、淀屋橋界隈にスポットをあてます。

開催日：2007.11.03 発行日：2008.4.12
築港ARC企画「大阪のアートを知り尽くすの会」より作成

通りの歴史あれこれ

A 北浜通

旧淀川（大川）に面して、店が北を向いていることが由来。米・雑物・金の会所。

B 今橋通

通りに面して鴻池一族などの両替商が並ぶ「大金融センター」だった。
大阪大学のルーツ「懐徳堂」もあり、名医の町としても栄えた。

C 高麗橋通

近世では、大阪城に通じるメインストリート。
越後屋、人気呉服屋、まんじゅうの虎屋などが並んだ。

D 伏見通

3・4丁目には、唐物問屋が集中していた。

E 道修町通

江戸期から薬屋門屋街。その名残りとして今も大手製薬会社のオフィスが並び右も左も「薬・薬」!!

F 平野町通

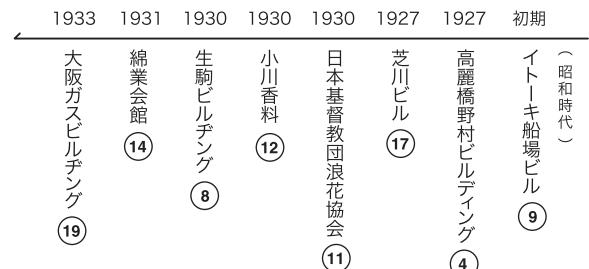
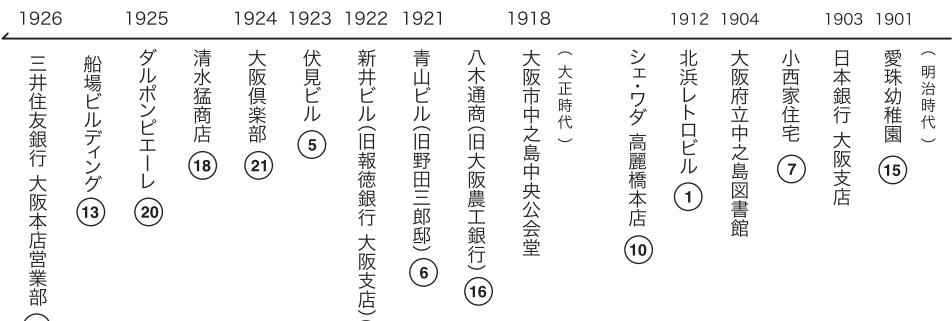
江戸期から明治期にかけて商店街として賑わう。
4丁目には町民自治組織「北組惣会所」があった。

G 淡路町通

近松門左衛門の「冥途の飛脚」に登場。

H 備後町通

江戸期は鳥問屋や木綿問屋、明治期からは呉服、洋反物、銀行が乱立。
野村証券、りそな銀行のルーツ。



建築を年表でみてみよう。

